

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年5月22日時点)

- **露軍は、クルスク州及びウクライナ東部・南部地域において攻勢やウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続。また、ウクライナ軍も露領内への攻撃を継続している模様。**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)

: **死者約20万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)

: **死傷者約90万人**(英国防省25年3月20日)

「ウ」軍: **死者4.3万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)

: **死者約8万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)

「ウ」市民: **死者12,654人以上、負傷者2万9,392人以上**(UN25年2月21日)

- スーミ州軍政長官は、露軍が同州に緩衝地帯を創設する試みを継続も、実質的な成果はないが、**ジュラウカやヴェセリウカ、ノヴェンケ、バシウカ**の民間インフラを破壊していると表明。露国防省は、露クルスク州に隣接するスーミ州の国境地域において「安全地帯」の創設が継続と表明(4月29日、5月2日)
- 「ウ」軍参謀本部は、18日に前線で計130回の戦闘が発生し(ポクロウスク方面44回、ノヴォパヴリウカ方面29回、リマン方面21回、クルスク方面14回など)、**最も露が注力しているのはポクロウスク方面**であると発表(5月19日)
- 「ウ」空軍は、対空任務に従事していた**F-16戦闘機×1機**との通信が途絶えたとし、**パイロットは脱出**したものの、同機が**墜落**した旨発表(5月16日)
- 露国防省は、4月28日にハルキウ州**カミヤンカ**、30日にドネツク州**ノヴェ**、5月6日に同州**リシウカ**、17日に同州**オレクサンドロピル**、19日に同州**ノヴォオレニウカ**を解放したと発表

- 「ウ」情報総局長は、「ウ」が、**無人艇「MAGURA V7」**に搭載した**空対空ミサイルAIM-9**により、黒海で**露戦闘機Su-30×2機**を撃墜した旨言及(5月3日)
- 露国防省は、「ウ」無人機×524機を防空システムで撃墜したほか(過去最大)、巡航ミサイル「ネプチューン」×5発、JDAM航空爆弾×6発、HIMARSで発射した砲弾×2発を迎撃したと発表(5月7日)
- 「ウ」当局は、露が、スーミ州において無人機「ランセット」により定期運航バスを攻撃し、民間人9人が死亡、7人が負傷と表明(5月17日)
- 「ウ」空軍は、露が**Shahed型攻撃無人機や様々な砲無人機×273機**で攻撃し、キーウ州、ドニプロペトロウスク州、ドネツク州が被害を受けたと発表。「ウ」メディアは、**過去最大の露無人機攻撃**と報道(5月18日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ウクライナ軍が占領した地域

- 米財務省は、**米「ウ」復興投資基金設立のための協定**(報道においては「鉱物資源協定」との呼称も)に署名と発表(4月30日)
- プーチン大統領は、戦勝80周年記念日に合わせて、**5月8日0時から11日0時まで露は停戦**すると発表。ゼレンスキー大統領は、これは演出であるとし、2-3日の停戦では戦争終結のための計画を立てることは不可能のため、**30日間の停戦**が必要である旨発言(4月28日、5月2日)
- ゼレンスキー大統領は、5月10日、有志連合国が最低30日間の完全かつ無条件な停戦を12日から開始することに同意し、共に露側に要求しているほか、これは米国も支持していると発言(5月10日)

- 米大統領は、**30日間の無条件停戦**を呼びかけた上で、仮に同停戦が守られない場合、**米国とそのパートナー国は追加制裁を課すことになると表明**(5月8日)
- トルコ仲介の下、**露「ウ」高官協議が実施**され、千人対千人の捕虜交換で合意(5月16日)



国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等